

観察記録ノート

昆虫類

長野県伊那谷南部における 1月, 2月のチョウの記録

井原 道夫

筆者は本誌前号で12月のチョウについて報告した(井原, 2002). 今回は1月および2月の厳冬期に目撃, 採集した種について報告する.

表1は, 伊那谷南部で1月, 2月に目撃, 採集したチョウ類の記録をまとめたものである.

1月に飛翔を目撃できたのはモンキチョウ, ヤマトシジミ(図1), キチョウ, キタテハの4種であった. この中で, モンキチョウ, ヤマトシジミの記録は注目される. これまで当地方において越冬が成虫態でないチョウが, 1月の厳冬期に活動したという記録はなかつ



図1 ヤマトシジミ♂ (2002. 1. 13 天龍村平岡)

た. これらの種は, 秋遅くに成長した幼虫が気温の高い日が続いたことで12月あるいは1月になって羽化したものと考えられる. なお当地域でヤマトシジミの新成虫が現れるのは, 通常では3月下旬頃である.

これらの種の活動を観察した天龍村平岡の標高400~450mの地点は, 日当たりがよく, 長野県内で一番遅くまでチョウ類の活動が目撃できる場所であり, また一番早く活動が目撃できる場所でもある.

2月に活動していたのは, キチョウ, スジボソヤマキチョウ, モンキチョウ, テングチョウ, キタテハ, ヒオドシチョウの6種である. モンキチョウ以外は, すべて越冬態が成虫の種類である.

越冬態が成虫である種のうち, 多くの種では越冬から目覚め活動を始めるのは, 2月中旬過ぎてからであった. しかし, キチョウ, キタテハの2種では, 厳冬期の1月や2月上旬に活動が観察された. 特にキチョウは, 少し気温の高い日であれば, しばしば活動していると思われる.

引用文献

井原道夫, 2002, 長野県伊那谷南部における12月のチョウの記録, 伊那谷自然史論集, 3, 93-94.
(いはら みちお/〒395-0004 飯田市上郷黒田571)

表1 1月, 2月に目撃, 採集したチョウ

種名	観察記録	年月日	記録地
キチョウ	1♀	1976. 1.14	飯田市上郷黒田
	1♀	1998. 2.19	下條村山田河内
	1♂1♀	2000. 1. 4	南信濃村山原
	1♂	2001. 1. 1	阿南町和知野
	4♂	2002. 2.21	天龍村平岡
モンキチョウ	1♂	1987. 2.27	阿南町富草
	1♂	1987. 2.27	阿南町和知野
	2♂	1987. 2.27	南信濃村名古山
	1♂	2002. 1.13	天龍村平岡
	3♂	2002. 2.21	天龍村平岡
	5♂	2002. 2.25	天龍村平岡
スジボソヤマキチョウ	1♂	2002. 2.25	天龍村平岡
ヤマトシジミ	1♂	2002. 1.13	天龍村平岡
テングチョウ	1ex	1998. 2.19	下條村山田河内
	1ex	1998. 2.28	天龍村中組
	3exs	2002. 2.21	天龍村平岡
	1ex	2002. 2.25	南信濃村山原
	2exs	2002. 2.25	天龍村平岡
	2exs	2002. 2.25	下條村山田河内
キタテハ	1ex	2001. 1. 1	下條村山田河内
	4exs	2002. 2.21	天龍村平岡
	3exs	2002. 2.25	天龍村平岡
	1ex	2002. 2.25	下條村山田河内
ヒオドシチョウ	1ex	2002. 2.25	天龍村平岡